

コラム④

ニガイチゴ (*Rubus microphyllus*)

本会誌に函館山のコアカソについて報告した。その生育地とそれほど離れていない場所に生育を確認しているニガイチゴについて、関連記事として書いておこうと思う。現地は工事で重機などが頻繁に通行したと考えられ、このニガイチゴもそれに伴う何らかの持ち込みが推測される。最初に確認したのは2008年で、数年間は花が見られた。その後は整地・草刈りにより個体数が激減、貧弱な個体になるが、時々小さなそれらしき個体の葉や蕾を確認している。昨年は蕾を付けた株が草刈りに会わない所に逃げ出

していた。本年は、久しぶりに開花を確認したが、果期には草刈りで見当たらなかった。地中に残った根から芽を出したり、離れた所に根を伸ばしたりし、細々と命をつないでいるようである。コアカソ同様、かなり年月が経っているので全く知られていないとは思えないが、道内の図鑑などには見当たらない。本年見た姿、および草刈りに会わなかった頃の立派な姿、古い写真であるが紹介するとともに、再度、この姿が見られることを願っている。

(酒井 信)



2020.6.3 本年確認した開花状態



2008.05.18 開花状態



2009.7.30 果期の全景



2009.7.30 果実